

学校保健委員会だより

令和4年7月25日
土浦市立右粕小学校

令和4年度学校保健委員会（前期）開催

7月14日（木）午後1時より、本校職員研修室において学校保健委員会（前期）が開催されました。昨年度まで、コロナ禍により、対面での開催ができませんでした。今回は小規模ではありますが、3年ぶりの開催となりました。

学校保健委員会の趣旨は、児童が健康で安全な生活を送ることができるよう、学校医・保護者・学校職員で、児童の健康・安全に関する実態を確認し、問題を解決するために何をすべきかを話し合うものです。

出席者（敬称略）

学校医 鈴木 有二
PTA会長 小室 亜季
PTA副会長 金子 舞子

教 頭 串山 忍
教務主任 小島 美浦子
生徒指導主事 宮本 秀樹
給食主任 明星 令子
保健主事 橋本 由記
養護教諭 橋本 由記

※お忙しいところ、ありがとうございました。



学校医 鈴木有二先生

協議内容から

1 健康教育活動のテーマについて

【令和4年度テーマ】

- 自分の健康に関心を持ち、自ら健康管理をする力を身に付けさせる。
- 自分自身やまわりの人の生命を守るための安全意識を高め、適切な行動を身に付けさせる。

2 定期健康診断結果について

（1）体位の平均について

県と市の平均と比較してみると、全体的に身長は平均を上回っていて良好でした。体重は、やや下回っている学年が多く、全体的に体重が軽い傾向にある。それぞれの学年で、バランスの取れた健やかな成長がみられている。

	身長 (cm)		体重 (kg)	
	男子	女子	男子	女子
1年	117.4	○ 116.8	○ 22.6	▼ 21.5
2年	123.1	○ 122.7	○ 26.9	24.2
3年	○ 129.8	▼ 127.9	▼ 28.6	▼ 26.7
4年	○ 134.2	○ 135.6	○ 33.3	○ 32.5
5年	▼ 139.0	○ 143.3	▼ 34.0	▼ 34.3
6年	○ 148.0	○ 148.6	○ 42.1	○ 45.3

○上回っている ▼下回っている

（2）視力検査結果について

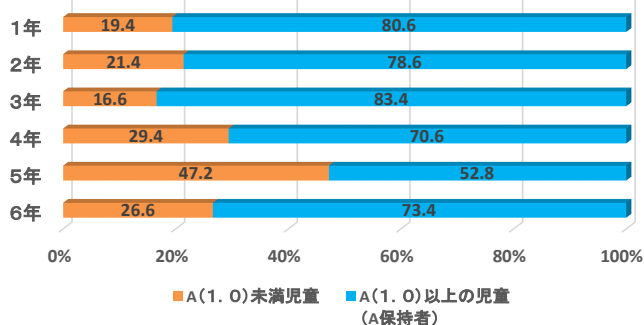
どの学年もA（1.0以上）を維持している児童が多く、特に1，3年生では80%以上がA（1.0以上）を維持していた。

引き続き、目の健康生活について声かけしていきたい。

（学校での取り組み）

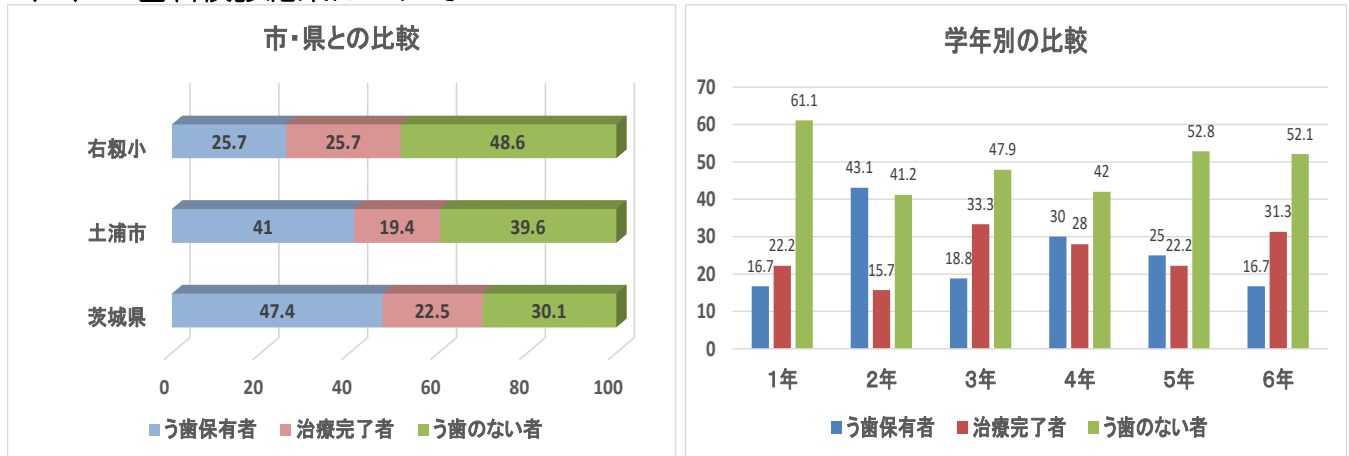
- ・姿勢指導 ・年2回の視力測定
- ・教室の照度検査
- ・ほけんだより等による目に関する保健指導
- ・児童保健委員会の啓発活動

学年別の比較



ご家庭でも、ゲームやスマホ・パソコン・テレビの使用時間や、学習や読書時の姿勢などに注意をして、目を疲れさせない生活を心がけるようお話してください。

(3) 歯科検診結果について



県、市と比べ、う歯を保有する児童数が大変少なく、今年度はう歯のない児童が約5割を占め、大変良好な結果となっている。

(学校での取り組み)

- ・給食後の歯みがきの励行 ・歯ブラシチェック ・児童保健委員会による啓発活動
- ・全国小学生歯みがき大会(5, 6年生) ・歯の保健指導

- ・低学年のお子さんには、引き続き仕上げみがきを続けていただき、中・高学年でも時折は、お子さんのお口の中のチェックをお願いします。
- ・むし歯のあるお子さんについては、乳歯のむし歯であってもしっかり治していただき、永久歯にむし歯がうつらないようにしてほしいと思います。

3 体力について

(1) 体力テストの結果から(昨年度の結果)

令和2年度は体力テストが未実施であったため、昨年度と平成31年度を比較した。平成31年度は、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、ボール投げの各種目で多くの学年が県平均を大きく下回っていたが、昨年度を見ると、長座体前屈、シャトルラン、ボール投げで向上傾向が見られ、特にシャトルランでは、平均を大きく下回る学年が0となった。3種目で向上が見られた一方で、握力では低下が見られた。

これまで、主運動の前の準備運動では、補強運動や5分間走などを行ってきた。継続してきたことが結果として表れている部分がある一方で、コロナ禍での運動不足や体重の変化などが影響している部分も考えられる。準備運動で行う運動については、体力テストの結果や児童の実態を踏まえて毎年運動内容を精査、吟味していくことが必要である。



(2) 体力を向上させるために

ロング昼休みを活用し、クラス遊び、全校外遊び、縦割り遊びなどで外遊びを実施した。多くの運動遊びを経験し、他学年との交流を楽しみながら運動に親しむ機会を確保した。

また、昨年度からなわとび検定を2学期から年度末にかけて、長い期間行うように変更した。各学年月1回、体育の時間に検定日を設け、なわとび強化月間には、体育委員が検定委員となり、休み時間に、低学年のなわとび検定を行った。なわとびは、接触を避けることのできる全身運動であることから、年間を通した取組は、放課後の外遊びが減った児童にとって効果的であった。

(3) その他

夏芝の期間、芝生グラウンドでの裸足遊びの推奨を行っている。運動能力を高め、大きなけがを負わなくなるだけでなく、足裏のツボが刺激され、健康になると言われている。実施に当たり、安全を十分に確保できるよう職員で安全点検を強化していきたい。



4 給食について

(1) 給食指導について

- ・食事の重要性や、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性を育て、食文化を理解することなどをねらいとしている。
- ・当番活動では給食当番チェック表を活用し、手洗い・消毒・身支度を徹底している。また、食事のマナーを指導している。

(2) 栄養指導について

- ・給食委員会の児童が献立やその意味、食品の働き、食材の由来などを知らせ、好き嫌い無く何でも食べることの大切さを伝えている。
- ・毎月19日を食育の日とし、ICTを活用して、給食時に食育動画を視聴している。
- ・給食センターの栄養士・栄養教諭による指導を行っている。

(3) 食物アレルギーのある児童への対応

- ・学校生活管理指導表の活用
- ・個別支援プランの作成し、保護者・学校・医療機関と連携・協力を図っている。
- ・教職員間での情報共有の徹底

(4) コロナ禍の給食対応

- ・給食の準備：全員が手洗い・消毒を行う。配膳は給食当番チェックを受けた者が行う。机は向かい合わせにせず、一人ずつ前向きにしている。
- ・喫食中：「いただきます」の挨拶で、マスクを外し、黙って食事をとっている。
- ・給食の片付け：牛乳パックは、洗わず処分している。



5 生徒指導・生活指導について

(1) 「あたり前のことをあたり前にできる児童」を目指して

- 友達、先生、地域の方、お客様に気持ちのよいあいさつができる児童。
 - きまりを守ることでできる児童。
 - ・名札をつける。
 - ・持ち物について（華美な文房具や連絡帳は使用しない）
 - ・帰宅時刻を守る。（2～10月 5：00、11～1月 4：00）
 - 安全に気をつけて生活できる児童。（校内でも校外でも）
 - ・廊下の歩き方
 - ・休み時間の過ごし方
 - ・登下校の歩き方
 - ・自転車の乗り方
 - ・雨の時は、きちんと傘をさして安全に歩く。
- ※替えの靴下やビニール袋を持ってくるような準備ができるようにしたい。

(2) 前年度までの課題

- 登下校の歩き方・・・縦一列に並んで歩けない。道に広がって歩いている。
他の班へ行ったり並列になったりして話をしながら歩いている。
- 手立て・・・下校後の交通指導の実施や、班長・副班長への声かけなどを行っている。
- 掃除の仕方・・・掃除の時間におしゃべりが多い。掃除に集中できていない。
手立て・・・掃除中の音楽を流さずに、無言で掃除をする。

(3) 月目標・マナーアップ目標 達成調査結果

毎月のマナーアップ目標

【マナーアップ目標】

- | | |
|-----|-----------------|
| 4月 | 気持ちのよいあいさつをしよう |
| 5月 | たてわり班の人の名前を覚えよう |
| 6月 | まちがえたらすなおにあやまろう |
| 7月 | 友だちのよいところを見つけよう |
| 9月 | 「おはよう」と自分から言おう |
| 10月 | 使ったらきちんと片づけよう |
| 11月 | こまっている人をたすけよう |
| 12月 | 人の話をさいごまで聞こう |
| 1月 | 相手の気持ちを考えよう |
| 2月 | 友だちにやさしくしよう |
| 3月 | 「ありがとう」を言おう |

<5月の達成調査結果より>

A—よくできた B—まあまあできた C—あまりできなかった D—まったくできなかった (%)

目標	廊下は右側を静かに歩こう						たてわり班の人の名前を覚えよう					
学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
A	79	76	45	27	6	33	49	31	43	54	25	49
B	12	14	48	71	86	60	21	55	22	25	50	36
C	9	10	7	2	8	7	15	12	28	19	19	13
D	0	0	0	0	0	0	15	2	7	2	6	2

○ 毎年、廊下の歩き方は低学年の方がいいようです。また、少しなら走ったり騒いだりしてもいいということではないので、児童の安全確保のため、Bの割合がもう少し減るように1年間を通して根気よく指導していきたいと思います。

○ 毎年、「班の人を名前で呼びましょう。」と言っても3月まで「O年生」という呼び方で呼んでいる子もいます。班長である6年生が、A・Bに該当する児童が85パーセントと意識の高さを感じます。

A—よくできた B—まあまあできた C—あまりできなかった D—まったくできなかった (%)

目標	黙ってそうじをしている						廊下や昇降口では静かにしている					
学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
A	97	84	52	79	36	44	88	76	48	17	0	27
B	0	14	46	17	56	56	9	24	41	79	83	71
C	3	2	2	4	8	0	3	0	9	2	14	2
D	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	0

○ 「黙ってそうじをしている」の達成度は、A、Bの割合をみると、ほとんどの学年で良くできています。引き続き、清掃場所や担当の先生方がいる・いないに関わらず、だまって清掃できるように各担当で指導をお願いします。

○ 先生方の声かけや日直の先生方の見守りで、校舎内が静かになっています。指導を続けてきたお陰だと思います。「昇降口までは集中」「昇降口からは集中」という合い言葉で、これから子ども達に関わり、ゆくゆくは声かけや見守りがなくても静かに過ごせる子ども達になってほしいと願います。

(4) 通信機器等に関するアンケート調査より (R3年度に実施)

【質問内容】

- 1 あなたが、インターネット接続機器（携帯電話、キッズ携帯、スマートフォン、タブレット、ゲーム機器、パソコンなど）を使うときに、家庭でのルールがありますか。（例：使う場所、使う時間、使う目的、通信する相手など）
- 2 あなたは、自分用のインターネット接続機器（携帯電話、キッズ携帯、スマートフォン、タブレット、ゲーム機器、パソコンなど）を持っていますか。（学校の端末は除く。）
- 3 2で「持っている」と答えた人への質問です。
あなたは、自分用の携帯電話、キッズ携帯、スマートフォンを持っていますか。

「質問内容1」について、あると答えた児童。

4年生 86%
5年生 86%
6年生 85%

「質問内容2」について、持っていると答えた児童。

4年生 83%
5年生 86%
6年生 90%

「質問内容3」について、持っていると答えた児童。

4年生 53%
5年生 53%
6年生 63%

6 指導・助言

○鈴木先生(学校医(内科))から

新型コロナウイルス感染症についてのお話

- 最近になって新型コロナウイルス感染症の罹患率が急に増えてきた。
人の流れが以前の状態に戻ったことも考えられる。飲食業界は本当に大変な思いをされていて、お気の毒に感じる。
- 大規模接種会場ではワクチン接種を受ける人が少なくなり縮小する会場もみられている。そこに来て、第7波を疑わせる状態が起こっている。
- 長期戦を覚悟に、しばらくの間さらにがまんが必要な日々が続くかもしれない。
- 日本はマスク・手洗い・消毒など丁寧に行って予防に努めている人が多いので、他国に比べ感染の広がりはない。
- ワクチン接種はしばらく続くと考えられる。
- 家庭内感染の症例が多くみられている。一人一人が予防することが大切である。
ワクチン接種について低学年の子どもなどは、副反応への心配もあるが注射への恐怖感もあるので、一概に接種を奨励することは難しいところである。

※学校保健委員会（後期）についてのお知らせ

次回の開催は令和5年2月9日（木）午後1時～を予定しております。
今回は、コロナ禍がやや緩和され3年ぶりの対面開催でしたので、人数を減らして行いました。今後コロナの状況が心配ですが、落ち着き軽減されているようでしたら、次回は、学年学級委員の皆様にもお声かけさせていただきたいと思います。宜しくお願いいたします。

